人も緑もいっぱいの区に！「グリーンとしま」再生プロジェクト

高層ビルだけでなく、マンションや住宅も多い豊島区は、人口密度日本一の自治体です。一方、公園面積は少なく、緑も多くありません。限られた空間を上手に使い、多くの人が暮らす町を緑いっぱいにしていこうと、豊島区は平成21年度より「グリーンとしま」再生プロジェクトを行なっています。これまでに地域の方々とともに「いのちの森」植樹祭や育樹、緑と環境の区民フォーラム、講演会、緑のカーテンなどの事業に取り組んできました。緑を育てながら、災害に強く、人と人がつながる町をつくろうとしています。

1本1本に思いをこめて「いのちの森」植樹活動

「グリーンとしま」再生プロジェクトのひとつとして、「いのちの森」の植樹活動を行なっています。最初の年、平成21年度には全区立小中学校で合計約1万本の木を植える「学校の森」植樹祭を行ないました。その後、区民ひろばなどの区施設や公園・児童遊園約60か所に約1万7000本の樹木を植えることができました。年々育っていく樹木は、豊島区の景観を少しずつ変えています。地域の方との植樹のほか、「いのちの森」づくりに協力できる方に苗木を配り、ご自宅の庭などへの植樹活動も広げていきます。

ご近所同士で木を植え顔が見える町づくり

あなたが植える1本の木の隣に、緑の快適さを共感する仲間がもう1本の緑を植える。そんな繰り返しが通りを素敵に、そして人と人がつながって…。豊島区では、新たに向こう三軒両隣方式により、「界わい緑化推進事業」を展開しています。この事業は、ご近所（3軒以上）で話し合い計画書を区に届けることで、助成制度が活用できます。また、緑の維持管理に係る講座などのフォローアップも行なっていき、緑を通したコミュニティづくりを目指します。